



8月6日 金曜日～8月7日 土曜日

上野	23時07分発	(高崎線 普通 新前橋行き)	高崎	0時55分着
高崎	1時13分発	(快速 ムーンライトえちご)	新潟	4時51分着
<自由時間>				
新潟	9時05分発	(磐越西線 普通 会津若松行き)	会津若松	11時53分着
会津若松	14時14分発	(磐越西線 快速 あいづライナー4号)	郡山	15時16分着
郡山	15時31分発	(東北新幹線 つばさ119号 新庄行き)	福島	15時46分着
福島	15時56分発	(奥羽本線 普通 米沢行き)	米沢	16時44分着
米沢	18時26分発	(米坂・羽越線 快速 べにばな)	新潟	21時19分着
新潟	23時35分発	(快速 ムーンライトえちご)	新宿	5時10分着

■リョコウスタート！

22時45分、全員集合、してはいなかった。

源中先生だけ、新宿からムーンライトえちごに乗ってくるらしい。

なぜ、自分たちが新宿からムーンライトえちごに乗らないのか。

去年の停車場を読んだ方はわかると思う。

<p>例)新宿から乗車する場合</p> <p>新宿→ムーンライトえちご→(高崎)→新潟</p> <p>新宿～高崎間 1890円</p> <p>新宿→上野→(北鴻巣)→高崎</p> <p>新宿～北鴻巣間 950円</p> <p>北鴻巣で日付が変更するため、ウィークエンドパスが使えるので、ムーンライトに乗るより約半分の料金で乗ることができる。</p>
--

今回使用するきっぷは、3月から発売のウィークエンドパス。

土・日きっぷが発売終了したので、そのかわりに発売された。

土・日きっぷと内容はそれほど変わらないが、新幹線・特急には別料金を払わないと乗れなくなりました。

普通列車でしか行けないというのは、金はかからないが不便である。



高崎線新前橋行き(E231系)



ムーンライトえちご行先幕

■眠いはずの夜

通勤時間のため、乗る人が多い。なんとか椅子に座ることができた。

大宮を過ぎると、立ってる客が多くなった。

酔っぱらった客が騒いでいた。金曜日の夜だからだろうか。

ゲームして暇つぶし。むう、暇だ……。

北鴻巣で日付変更、ここからウィークエンドパスが使える。

0時55分、高崎到着。

その4分後に、ムーンライトえちごが入線してきた。

ムーンライトえちごは、新宿と新潟を結ぶ夜行快速列車のことだ。

寝台特急とは違い、乗車券の他に指定席券だけで乗ることができる。

そのため、格安きっぷ利用者には非常にうれしい。

今までは485系特急型車両を使用していたが、3月からは183系幕張車が

使われるようになった。正直いって去年より乗り心地が悪い。

反対側のホームからバルブ、もちろんゲバナした。

俺もう神じゃね？ バルブの神なんじゃね？

(ずいぶんと調子に乗っておりました……、汗)

去年の写真と比較してみよう、あきらかに今年の方がよく撮れてる。

カメラは、去年はニコンのD40、今年は同じくニコンのD60だ。

おそらくD40よりD60の方が手ブレ補正が強いのだと思われる。

しばらくムーンライトえちごを撮影。

1時03分、向かい側の2番線に臨時急行能登号が入線してきた。

この能登号は定期運転していたが3月に臨時化され、今まで使用されてきた

489系に変わり、今までムーンライトえちごとして使用されていた485系が

運用に入るようになった。

ボンネット車がなくなってしまったのは非常におかしい。

485系急行能登号を見送り、1時13分、高崎出発。

車内に行くと、何人かが座る席で戸惑っていた。

話によると、おっさんが席を間違えていたらしい。

必ずあるよな、こういうの……。

しばらくたつと、おっさんが別の車両に移っていった。

なんとか解決した模様。ふむ、よかったよかった。

さて、大宮で買ったカツサンド食べるか……。

……、東京駅のカツサンドの方がうまかったかなあ……。

カツサンドを食い終わり、iPodで音楽を聴き始める。

ああ、いい感じだあ〜。椅子硬いけど、疲れてる体には関係ない。

そのまま俺は寝てしまった。

おやすみ……。



ムーンライトえちご(183系)

ISO200 シャッター速度 1/2



485系によるMLえちご、去年撮影

ISO1600 シャッター速度 1/50



485系臨時急行能登号金沢行き



489系による急行能登、去年撮影

ここまで聴いてきた音楽

■上野〜高崎

[Angel Beats! OST]

■旅はかく語りし

十分寝たつもりだったが、1時間後には目が覚めてしまった。

暇だなあ、マンガも読み終わってしまったしなあ。

向かいの席の和田君が鉄道ファン9月号を持っていたのでそれを貸りる。

暇つぶし暇つぶし……。

3時10分、小出駅に到着した。

普段はこの列車は止まらないが、山登りをする人のために深夜にも関わらず下りだけ停車する。見てると、何人かが列車を降りていくのが見えた。

降りる人は降りるんだなあ。

デッキで涼んで、後輩と少し話す。中二はほとんどが起きていた。

3時39分、長岡到着。時間調整のために16分停車する。

鉄研のメンバーも何人かが車外に出て食料調達をしていた。

とは言っても駅の近くにコンビニはないので、ホームにある自販機で菓子やらジュースやらを購入しただけのようだったが。

この時間は自動改札機の電源が入っていないため、切符なしで改札を通ることができる。こういうところが田舎っぽいなあ。

長岡駅を出発し、新津駅を過ぎたあたりで空が青くなり始めた。

うお、もう夜明けか……。そんなに時間が経過した感じではなかった。

4時51分、新潟駅到着。客の大半が反対側にいた村上行きに乗っていく。

鉄研はとりあえずここで解散。5時前に途中解散するなんて前代未聞だった。

することがないので、部員の山田拓也君(以下山田)についていくことにする。

新発田まで行って新津～新発田間を乗り潰すらしい。

和田君と信夫、嶋田君もついてきた。

部員のほとんどが越後線に乗ってしまった。それを見送り、俺たちは信越本線長岡行きの電車に乗った。これで新津まで戻る。

5時18分、新潟発車。

PSPの電源を入れてみたが、どうもやる気になれない。

なんだろう、どうも面白くない。古いゲームだからだろうか。

ぼーっとするだけでなにもしなかった。

すると、日が差してきた。太陽さん、10時間ぶりです……。

眠いためにうたた寝を始めたところで、新津に着いてしまった。

うあー、ねみいー。

駅を出て、駅周辺を散策。信夫と嶋田はデイリーでお留守番。

土曜だからか、一人も人が見当たらなかった。

田舎だなあ……。

山田と和田と俺で新津車両センターの方へ歩く。

山田「なんか車両いるかもしれないから」とのこと。

一般道から見えるものなのだろうか……。

10分くらい歩くと、新津車両センターへの分岐点に到着。



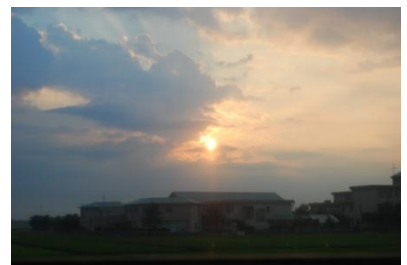
ムーンライトえちご車内



電源が切れた長岡駅自動改札機



信越本線長岡行き(115系)



日の出

ここまで聴いてきた音楽

■ムーンライトえちご

Pyramid

HASYMO

Cassiopea [Mint Jams]

Girls Dead Monster

[Keep the Beats!]

山田「車両いないねえ」

めぼしいやつはいなかったらしい。というかなにもいなかった。

とそこに、これから乗る羽越本線の列車が。

キハ 110 の 2 両とキハ E120 の 1 両という組み合わせだった。

俺はあんまりキハ E120 は好きじゃないんだけどなあ。

残り時間が少なくなってきたので急いで駅へと戻る。

駅で信夫・嶋田と合流。

6時16分、キハ110の方に乗車。二人ボックス席を占拠。

足を伸ばして寝る。ふわあ、ねみい……。

30分ほどで新発田に到着。あれ、もう？

寝てたので気付かなかったが、いつの間にか30分たっていたらしい。

眠い……。

6時52分発、白新線吉田行き。来たのはE127系6両だった。

新潟で見た村上行きの折り返しのため、6両もある。

乗った瞬間に寝てしまい、やっぱり気づいたら新潟に着いていた。

ぐわああああ(軽く背延び)

まだ7時30分、次に乗る電車まで時間がある。

新潟駅をぶらぶらすることにした。

New Daysでコーヒーとおにぎりを購入、改札前で立って朝食。

眠っちゃだめだ、眠っちゃだめだ、眠っちゃだめだ……！！

なんとかコーヒーで目を覚ます。

駅ビル CoCoLo の地下街に入ってぶらぶら。

まだ8時前なので飲食店は全く営業していなかった。

が、雑貨屋とマツモトキヨシと文信堂書店は営業していた。

書店の時刻表で時刻を確認。きたぐにの入線時刻は、と……。

8時過ぎに一度ホームに入り、列車を撮影。

6番線にいなほが止まっていたので5番線から撮影。

485系1000番台(上沼垂色)だった。俺としては国鉄色がよかったのだが。

ジュースを買って水分補給をしつつ、ある列車を待つ。

8時29分、10両編成の夜行急行が、5番線に入線してきた。

唯一の583系定期列車、夜行急行きたぐにである。

きたぐには、1947年に大阪～青森間で登場した。

当時は列車名すらない、言ってみればただの急行であった。

最初は客車を使用した列車だったが、1985年に583系化、今の姿となる。

それから25年間、カラーは変わっても同じ姿で走り続けている。

残っている2つ定期急行のうちのひとつであり、最後の電車急行でもある。

もうそろそろ見られなくなってしまうのだろうか。

一回くらいは全区間乗ってみたいものである。



羽越本線酒田行き(キハ E120+110)



白新線吉田行き(E127系)



新潟駅万代口



特急いなほ1号秋田行き



急行きたぐに(583系)

■そして会津へ

583系を撮り終わり、磐越西線会津若松行きを待つ。

まだ鉄研メンバーは全員集まっていないようだった。

一体どこまで行ったのだろうか。

1番線に、キハE120の1両とキハ110の2両が入線してきた。

今度もキハ110の方に乗って二人ボックスを占拠。

足を伸ばしてゆっくりしてみる。

ああ、椅子が柔らかい……。

9時05分、新潟駅出発。

乗っていたのは、顧問3人と中三全員、高一の一部。

中二は全然いなかった。どこに行ったのだろうか。

iPodで音楽を聴き始め、午後ティーでのんびりくつろぐ。

9時25分、新津到着。

ここで9分停車。西島先生の話によると、中二はここで合流らしい。

が、発車時間の34分になっても中二は乗ってこない。

というか列車そのものが発車しない。なにがあったのだろうか。

まさか、事故か!?

と思ったら、長岡の方から快速くびき野が来た。

これは9時01分に新津を通るはずだったのだが……。

と、そろそろと鉄研部員とおぼしき学生がくびき野から乗ってくる。

乗ってきた高一の横溝先輩になにがあったか聞くと

横溝先輩「長岡で30分車両点検があって……」

うわあ、大変だなあ……。

遅れたくびき野の接続のためにこの列車も発車が遅れたわけだ。

10分くらい遅れて出発した。

阿賀野川に沿って、列車は会津若松へ進む。

山田たちは新潟駅で買ったらしい本で読書会を開いていた。

全員無言ではあったが。

俺はiPodを聴きながら、ぐっすり寝ていた。

気づいたら喜多方のひとつ手前の山都駅で交換待ちをしていた。

対向から来たのは、キハE120だった。

なかなかキハ47は来ない。国鉄気動車の方が好きなのだが……。

喜多方を過ぎ、電化区間に入る。

新津～喜多方間は、非電化のため気動車しか入れない。

途中の塩川で、485系あかべえ色による臨時特急あいづとすれ違った。

あの塗装の485系は結構好きである。

そして、遅れを回復して11時53分、会津若松到着。

着いたああああ。

でも暑いいい……。

東北とはいえ盆地のため涼しくはなかった。



磐越西線会津若松行き



午後ティー……



阿賀野川



車窓風景

さてさて、昼飯昼飯。

山田の消防署めぐりに付き合ったりして、少し駅周辺をうろついた。

山田「ああ、DOMDOM バーガー食べてえ……」

駅前にあるハンバーガーショップを見て、山田はそう呟いた。

いやいや、会津若松来てハンバーガーって……。

そのまま山田・信夫・嶋田はハンバーガーショップに入っていった。

ううん、俺はハンバーガーはちょっとなあ……。

俺と和田君は駅の中にある郷土料理屋に入る。

会津若松といたら、そば……？

とりあえずざるそばを注文。和田君はざるうどんだった。

足りねえ、たんぱく質が足りねえ……。

摂ったのは炭水化物と塩分だけである。

偏ってるよなあ……。てかまだ腹減ってる……。

隣に座っていたおばさんに話しかけられた。

おばさん「新潟から来たよね？ どこ行くの？」

俺「米沢の方に行って新潟に行きます」

だめだ、俺には他人と話す力がない……。

和田君の話力でその場は切り抜けた。

売店でおにぎりを数個買って食う。

今度は野菜が足りないよなあ、米沢で野菜食うか……。

暇なのでまた書店に行く。今度は雑誌を立ち読み。

会津若松ってなんかありそうでなんもないからなあ。

New DaysでC1000買って飲んでビタミン補給と、暇つぶし。

13時20分くらいにホームに入る。

今回乗るはずだった列車が入線してきた。

快速SLばんえつ物語号である。人気があるため指定席の倍率は高い。

牽引機はC57-180で、新潟と会津若松の間を4時間かけて走る。

客車は12系を改造した車両で、展望車がある。

反対のホームから写真を撮りながら、あいづライナーを待つ。

10分くらいすると、SLばんえつ物語号は後ろ向きに走って行った。

意外と力あるなあ。

入れ替わりに、次に乗る快速あいづライナー4号が入線してきた。

あいづライナーは、郡山～会津若松を結ぶ快速列車だ。

普段あいづライナーは、485系あかべえ色で運行されている。

が、多客期は上野～喜多方間で運行される特急あいづに使用される。

しかも1編成しかないため、代走として特急あいづ運転の時は

583系仙台車が運用に入る。思わぬところで583系に見れるわけだ。

車内はすべて寝台が畳まれ、座席車として運行される。

14時14分、ばんえつ物語号からの客で満杯の状態で出発。

向かいのフィリピン人らしい夫婦のサングラスが怖い……。

半ば窓に貼り付いた状態で、郡山まで寝た。



会津若松駅



ざるそば(昼食)



SLばんえつ物語号



快速あいづライナー4号(583系)



寝台が収納された車内

■板谷峠越え

うう、疲れた……。結局サングラス夫婦は途中では降りなかった。

怖えよ、まちで怖かったよ……。

さて、次はこの旅行初の新幹線に乗車！

行程表を見てわかるとおり乗車時間15分。なんでやねん……！

土日きつぷじゃないから乗るだけで特急料金がかかるのだ。

だからあんまり乗れない。でも乗らなきゃいけない。

東北本線とこのあと乗る奥羽本線は本数が少ないので、

郡山から東北本線で奥羽本線に乗ろうとすると接続しないのだ。

新幹線のホームに移動、反対側の東京方面のホームにE3系がいた。

15時25分発のつばさ86号、これから乗る列車と同じ車両だ。

ポケモン新幹線というやつで、ところどころにポケモンの絵がある。

そのつばさを、はやて82号が追い抜いて行った。

その後すぐにつばさ86号は発車していった。

さらにその後すぐに、これから乗るつばさ119号が来た。

松崎先生「つばさじゃなくてもいいだよな？」

部員の半分ほどが後ろのMAXやまびこに乗っていった。

つばさの自由席には電源コンセントがついている。俺の狙いはそこだ。

外から自由席の窓を覗いてみる。

全部埋まってる……。

デッキにも人がいて、洗面所にはおっさんが洗面台に座っていた。

洗面所の電源使えないじゃん、おっさんどけよ！

言いたくても言えず、15分間通勤列車みたいに立っていた。

ドア近くの子供が座ってゲームしている。床に座るのは子供の特権……？

座りたくても座れないのが中学生というものだった。

15時46分、福島到着。

満員電車だった……。

乗り換え口を出て、奥羽本線のホームに行く。

これから行くのは、横軽・瀬野八に並ぶ日本三大鉄道難所と呼ばれた、板谷峠である。

板谷峠は、山形県と福島県の奥羽山脈の県境にある峠だ。

そこを、福島と青森を結ぶ奥羽本線が通っている。

最大38パーミルの急勾配があり、豪雪地帯でもあるために、

横軽・瀬野八に並ぶ難所と知られていた。

そのため、昔は列車に補助機関車をつけていた。

また、赤岩・板谷・峠・大沢というスイッチバック駅が4連続で存在していたことも有名である。

現在は新幹線の開通で補助機関車もスイッチバックもない。

そこを、719系による普通列車が6往復のみ運行している。

鉄道難所も廃れてしまったものである。



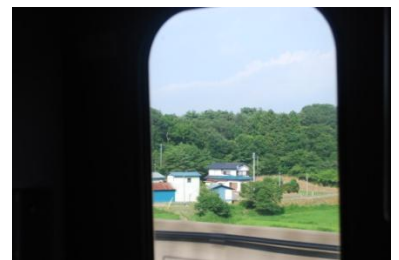
つばさ86号(E3系2000番台)



はやて82号(E2系+E3系)



つばさ119号(E3系2000番台)



車窓(ドア窓だけど……)



奥羽本線米沢行き(719系)

福島、15時56分発。

6往復しかないためか、席はほとんど空いてなかった。

夕方までここまで混む路線は田舎ではあんまりないのではないだろうか。

一体どれだけの人が乗り降りするのか、数えてみることにした。

最初の笹木野駅、子供連れのヤンキー家族が降りて終わり。

次の庭坂駅、8人ほどが降りた。乗る人はいなかった。

と、ここで運転室のカーテンが全部閉められた。こんな昼間から？

前面展望が見れなくなってしまったので、後ろに移る。

庭坂駅を過ぎると、急に勾配がきつくなる。

峠越えが始まった。

ループ線、トンネル、急勾配と続く。

と、何個かトンネルを抜けたところで窓が白くなった。

温度変化からだろうか、外の気温は車内より低いらしい。

とそこで、赤岩駅に到着。奥にスイッチバック時代のホームが見える。

客は誰一人として乗降しなかった。山奥だからなあ……。

すぐに出発して、トンネルに入る。やはりトンネルが多い。

8分で板谷に到着。大雨が降っている。

高い山だと雲が溜まるというが、ここまでとは……。

ここも誰一人として乗降せず。

出発すると、勾配は下りになり、長いトンネルに入った。

そして、有名な雪シェルターの駅、峠駅に到着。

この駅では、列車が来るたびに峠の力餅の立ち売りを行っている。

鉄研メンバーがぞろぞろとドアに寄って買おうとする。

が、今回は車掌があまり協力的ではなく、すぐに発車してしまった。

結局ほとんどが買えなかったようだが、嶋田だけなぜか成功。

なぜお前だけ買えたんだ……？

俺は米沢駅でもたぶん売っているはずだから別にいいが。

客が一人降りていった。家があるのか！？

峠駅を過ぎるとトンネルは少なくなり、山の中を走る。

大沢駅に到着。この駅の紹介は、去年の停車場の中川先輩の記事を見ていただきたい。

大沢駅を過ぎて少しすると、勾配がゆるくなった。

勾配がきついところを見ると、その差がよくわかる。

田んぼが多くなってきたところで、関根駅に到着。

女性が一人降りて、おっさんが一人乗ってきた。

峠を越え終わり、16時44分、米沢到着。

まだ日は落ちていないが、それでも外は暗かった。

昼飯を食ってからまだ4時間くらいしかたっていないが、夕飯にする。

焼き肉を食いに行くという山田についていくことにした。



笹木野駅の手前でつばさとすれ違い



スイッチバック駅跡(板谷駅)



峠の力餅の立ち売り



米沢駅

■焼肉焼肉～！！

山田「ちょっと値段は張るんだけど」

山田のその言葉に、俺は特に反応しなかった。いや、まだ金あるし。
信夫と嶋田もついてきた。

で、その少し(?)高いという店の前に来る。

……なんか、中学生だけで入る感じの店じゃないよなあ……。

ということで大人を呼ぶことになった。

駅前にいた源中先生と西島先生を店の前まで連れていく。

源中先生「こういう店ってたいしたことないのに金とるよね」

と、西島先生とともにどっか行こうとする。

源中先生「中学生は入んなくていいよ」

カチン

俺たち「もういいや、入ろう入ろう」

結局俺らだけで入ることになった。

中は普通の和食料理屋で、やはり子供は家族連れしかいなかった。

女将「何名様ですか～？」

中学生だけなのに、女将は特に変な顔をすることもなかった。

とりあえず奥の座敷に座る。疲れた……。

さて、なにを頼もう……。

料理の値段の平均が多分3000円くらい。最安が1050円の牛重。

高い、確かに高い。でも美味そう……。

まあでも払えるからいいか。焼肉……。

でも焼肉よりこっちの牛鍋定食の方が美味そう……。

焼肉ではなくすき焼きにすることに。上のタイトルの意味は……。

結局4人とも牛鍋定食にした。料理が来るまで時間がある。

あっ、コンセントあるじゃん！タコ足タコ足！！

iPodとカメラの電池の充電を開始。店入ってよかった～。

17時30分を過ぎたところで、時間的余裕があまりないことに気づく。

まあ急いで食べばいいか。

40分すぎに牛鍋定食が来た。やべえ、めっちゃうまそう……。

ぐつつ煮だつ鍋が非常に食欲を高めた。

もったいねえが……、食う！！

肉が柔らかい！！美味い！！

20分くらいで食い終わる。食うの早いよ俺……。

全員で金を合わせる。えーと、えーと……(計算中)。

こういう店に入るのは中学生ぼくなくても支払は中学生ばいよなあ……。

駅に戻って水とその他を購入。駅に鉄研部員がいないところから見て、もう列車は来ているらしい。席とらなきや。

ここまで聴いてきた音楽

■新潟～福島

とあるゲームの OST

とあるアニメの OST

Pyramid「TELEPATH」

11eyes OST(ゲーム版)



牛鍋定食



牛鍋……………



店内

キハ E120 とキハ 110 による快速べにばな。これで新潟に戻る。
新潟から来たのに新潟に戻るとは……。
まあ今回の旅行の発案者は俺なんだけどね(爆)
今回はキハ E120 の方に乗る。最後くらいは乗っておきたい。
椅子がやはり硬い。エコだエコだ言って大事なとこに金かかってない。
発車時刻まで時間があるので、列車の周りを撮影。
そんなに人乗ってこないな…、とか思っていたら大量に乗ってきた。
どうやらさっき着いたつばさから来た客らしい。
たちまち席は満杯となり、立ってる客も多くなった。
新潟に行ける最終列車だからだろうか。言ってみれば終電である。
こんな早い時間に終電とは、都会と違いやりのんびりしている。
人が多くなってきたところで席に着く。
カバンの中を開けて気づいたことがひとつ。
うっ、横川で使ったタオルがくせえ……。
ついでにその下に敷かれてたシャツもくせえ……。
干してみる……？ すごい迷惑だなこれ……。
タオルとシャツを網棚に干してみる。一応臭いは広がらなかった、と思う。
干して臭いは消えるものなのだろうか……。
コンセントないかなあ、新しい車両だからありそう。
車内をちょっと調べてみる。ふたされてるとことか怪しいよな……。
あつた！！一番前の二人ボックス席の椅子の下に隠れていた。
タコ足タコ足……、うお、みんな充電器をさしてくる……。
電気はやはり重要なものなのだ。もっとコンセント増やしてほしい。
18時26分、米沢発。2両だけの最終列車である。
しばらくゲームしていた。夜になってしまったために外が見えない。
とここで問題が発生、4人ボックスに4人入っているため寝れない。
さらに、網棚に干しているタオルの臭いが微かにする。
となりのボックスにいた源中先生からクレームもきた。
もうだめだ。このタオルは二度と使えない……。
封印！！(ビニール袋に詰めて)、消去！！(ごみ箱へポイ)
これで車内の平和は守られた……。
今泉で対向列車の交換待ちのために8分停車。
この今泉は、旧国鉄の山形鉄道フラワー長井線の接続駅だ。
反対のホームには山形鉄道の気動車がいた。
最近はこの第三セクターも減ってきている。
今泉を出発し、羽前椿で7分停車したあとは長い時間がある停車駅は
なかった。たばこが吸えないことに源中先生と西島先生が文句を言っていた。
俺の隣に座ってた信夫の寝相が悪く邪魔だったので、途中で俺は席を立て
先生と先輩たちで新潟まで話をしていた。
21時19分、新潟到着。



キハ E120 の車内



夕焼け



快速べにばな米沢行き



山形鉄道 YR-880 形



今泉駅構内

■銭湯に行こう

源中先生「風呂行くグループ、集まれえ〜」

俺が新潟で風呂に行くことを伝えると、源中先生と西島先生も来ることに。それがいつの間にか増えていた。

俺、先生二人、横溝先輩、和田、中三一人、中二が二人の8人である。

風呂と言っても、銭湯という昭和な風呂だ。

温泉なんてものじゃなく、共同浴場というわけでもない。

湯遊にすらのっていない、本当に小さな銭湯だ。

東口から出て、新幹線南口に行く。

南口は万代口と違って綺麗に整備されている。

新幹線と在来線でここまで差をつけていいのだろうか……？

あまりに綺麗すぎる南口に若干違和感を感じた。

でかい通りをそれて小さい通りに入る。

源中先生「米持、まだ着かないのか？」

俺 「もうすぐ着きますよ！！」

駅から10分くらい歩いたところで、銭湯「みどり湯」に到着。

風呂だああ、2日ぶりの風呂だああああ。

しかし、本当に昭和な銭湯である。

まず脱衣所が狭い。ついでに中も狭い。

本当に昭和にタイムスリップしたかのようなだった。

予備のタオルを使って体を洗い、風呂へ飛び込む！！

ぐわあああ、あっちいいいい、けど気持ちいいいい！！

2日ぶりの風呂、ここまで気持ちいいとは……。

ちなみに風呂の温度は42.5℃、風呂にしては若干熱い？

15分くらい入って、出る。ああ、気持ちよかった。

体拭いて服を着たあとに、使ったタオルをドライヤーで乾かす。

いや乾かさないとあのタオルの二の舞になるからさ……。

さて、風呂に出たあとにすることと言えば！！

ずばり、コーヒー牛乳である。

腰に手をあてて一気にラッパ飲みするアレ。

とききたかったのだが、あいにく自販機にそんなものはなかった。

代わりにコーラを飲む。あああああ、うまい！！

のどに染みわたる感じがした。

さあて、駅に戻るか。

源中先生と西島先生はラーメンを食べるらしい。

米沢でなにかあったとかないか……。

ちょうど銭湯出てきた横溝先輩と和田で駅戻った。



新潟駅新幹線南口



銭湯「みどり湯」

この辺の写真はこれ以上撮りませんでした。

期待しないでいただきたい。

■二度目のムーンライトえちご

駅に戻ると、朝見た急行きたぐに入線していた。

暗いなあ、撮りづらいなあ……。

カッ、バルブの神よ、降臨せよ！！

ISO200、シャッター速度1/2、ブレなしで止めてみせた。

ふう、大変な作業だったぜ……。

まだそんなに人乗ってないから中入っても問題ない……？

……まあいいか、面倒だから。

何枚か撮影して、改札を出て食料調達。

とは言ってももう飲食店は閉まっているので、改札前の New Days でおにぎり数個、ジュースを購入。

夜食？ 朝食？ まあどっちでもいいや。腹が減ったら食べばいい。

食料調達後、ホームに入ってムーンライトえちごを待つ。

鉄研部員もほとんどがホームのベンチに座って列車を待っていた。

……あっ、土産買ってない……………。

どうすっかなあ……、次は仙台くらいしかないもんなあ……。

某後輩「あの、先輩、5000円札を両替してほしいんですけど」

俺 「いや、売店で両替すりゃいいじゃん」

暇だなあ、暇だなあ、なんかゲームしたいなあ。

そう言えば、この旅行でPSP全然いじってない。俺にしては珍しい……。

どっかでマンガ買おうかなあ……、とか考えていると

3番線にムーンライトえちごが入ってきた。

ああ、また189系か……。まあ折り返しだから当たり前だが……。

席に荷物を置いて、撮影開始。

まずは形式写真を撮る。

形式写真というのは鉄オタの間で使われている撮影用語の一つ(?)。

つまり列車の顔を前から撮るとのこと。初心者がよくやる撮影方法。

反対側ホームに移って編成撮り。

編成撮りとは、編成全体を撮影すること。

これにはふたつ種類があり、駅で撮ることをエキセン、

駅間での走行区間で撮ることをエンセンという(らしい)

まあ詳しいことは知らない。俺はそこまでの知識を持つ気はないので。

ある程度撮影して、車内に戻る。

今回は特にトラブルがあったわけではなかったらしい。

トラブルが起こる方が楽しいのだが……。

まあ自分にトラブルが起こるのは嫌だけどね(笑)

23時35分、新潟出発。



夜の急行きたぐに



ムーンライトえちご(面撮り)



反対側のホームから編成撮り



行先標



8月8日 日曜日

新宿	5時19分発	(山手線 外回り 池袋・上野方面)	上野	5時43分着
上野	6時04分発	(常磐線 普通 水戸行き)	水戸	8時00分着
水戸	9時03分発	(常磐線 普通 原ノ町行き)	原ノ町	12時11分着
原ノ町	12時25分発	(常磐線 普通 仙台行き)	仙台	13時43分着
仙台	16時03分発	(東北本線 快速 仙台シティラビット6号)	福島	17時16分着
福島	17時24分発	(東北本線 普通 黒磯行き)	黒磯	19時17分着
黒磯	19時31分発	(東北本線 普通 宇都宮行き)	宇都宮	20時21分着
宇都宮	20時38分発	(東北本線 快速 ラビット 上野行き)	上野	22時08分着

■よく寝れたはずの夜

※写真がありませんのでこのページは文章のみです……。

上りは新津で16分、長岡で12分停車した。眠かったので新津では降りなかった。

長岡では、菓子を買いに自販機まで行く。ねむい……。

あまりに眠すぎて、目当てのものを買ったのかどうか分からなかった。

菓子を買ってすぐに車内に戻って、寝る。zzz……。

気づいたら日付が変わっていて、高崎を出発していた。ふわあ……、よく寝たなあ……。

と、iPodの電池の残量が減ってきている。今日1日持たないかもなあ。

洗面所のカミソリ用電源を使って充電。

いつもここは誰かが使っているが、さすがに3時半だと誰も使っていなかった。

ううん、眠い……。

iPodの電池残量が80%まで上がったところで充電器はずす。

席に戻ってまた寝る。もちろん爆睡だった。

次に起きたのは池袋到着のアナウンスだった。

ああ、もう降りなきゃ……。

降りる準備して、新宿到着を待つ。

到着チャイム(鉄道唱歌)が流れて、5時10分、新宿到着。

■鈍行で行く仙台の旅

軽くラッシュ状態の山手線ホームに行く。

この時間はやはり人が多いわけで、かつ電車の本数が少ないのだ。

混雑率は平日の朝ラッシュと同じくらいと言ってもいい。

なのに、列車は約15分に1本ときた。ふざけているとしか思えない。

他の路線ではこの時間にはこんなに混まないはずだ。

なんだってこんな混むのやら……、今日は日曜だぞ……？

混んでいる山手線に乗り、上野へ向かう。

これから行くのは、なんと仙台である。しかも普通列車を乗り継ぐ。

新幹線で行けば2時間くらいなのに、常磐線で7時間かけて行く。

言ってみれば、これこそ我が鉄研クオリティーである。

金をかけて速く行くより、時間をかけて金をかけずに行く、

これこそ、この部の旅行の伝統(?)らしい。

いや、実際あまりに高い旅費をかけるルートは部員に不人気なのだ。

旅行のルートは、旅行前で多数決で決める。

で、今年の夏は俺のこのルート案で決まったわけだ。

とは言っても、正直言ってこのルートは俺が気に入らない。

もともと、土日きっぷさえあればもっと楽に行けたはずなのだ。

二回もムーンライトえちごに乗るのではなく、東京に戻ってくる時に寝台特急あけぼのに乗る予定だった。

新潟から会津若松に移動する際も、普通列車ではなくSLに乗る予定だったのだ。

が、いろんなトラブルが発生してしまったために

こんなつまらないルートになってしまったわけだ(泣)。

今度はもっといい行程で行ける案を作らないといけなと思う。

愚痴はここで終わり。

でも年に3回も旅行研修がある部活って本当に珍しいのではないだろうか。

24分で上野に到着。常磐線に乗り換える。

ここから仙台まで常磐線で行くわけだが、昔みたいに直通で行けるわけではない。なので、ちょくちょく乗り換えていく。

まずはE531系のE電(死語)で水戸へ向かう。

10両の長い編成だが、2両のグリーン車が連結されている。

水戸まで約2時間、俺はグリーン車に乗ることにする。

最近では普通列車のグリーン車も高いものではないので、気軽に乗れる。

ホームでグリーン席情報を読みこんで、乗りこむ。

発車時刻まで時間があるので、トイレに行ったり写真を撮ったりする。

グリーン車を見ると、他の部員も何人か乗っていた。

とりあえず荷物を広げて少しでも楽をしようと努めた。

6時04分、上野出発。



常磐線水戸行き(E531系)



上野駅名標



グリーン車の車内

ここまで聴いてきた音楽

■米坂線

11eyes OST(ゲーム版)

Yellow Magic Orchestra

■ムーンライトえちご

Angel Beats! OST

■山手線

Yellow Magic Orchestra

「RYDEEN」

とりあえず眠かった。とにかく眠かった。

ということでなんとか眠れる状況を作ろうとしてみる。

背もたれを全開にして、深く腰掛け、靴を脱いで、iPodで音楽を聴く。

完璧、といたいところだが、問題は椅子の柔らかさである。

大小で表すなら

新幹線グリーン>新幹線普通>特急グリーン>特急普通>京急2100型>
キハ110>普通列車グリーン席

つまり、キハ110よりも硬い。それほど乗り心地はたいして良くない。

よって非常に寝にくいのだ。これで寝つけと言われても容易ではない。

日暮里を過ぎ、列車は郊外へ進む。

列車と電車の違いとは、一体なんなのだろうか。

簡単な違いというなら、電気で動くか否か、それだけの違いである。

が、なら電気で動くのに列車と呼ぶのか。

たぶん、というかこれは私の勝手な定義なのだが

列車というのは、旅や旅行に行く時に使うものである。

電車というのは、通勤・通学・帰宅に使うものである。

私はこうのように定義づけている。このように定義づけているのは私だけではないはずである。もちろん逆と考えるのも、両方とも列車か電車と考えるのもありだと思う。

とにかく、旅に電車という表現は使いたくないということは理解してほしい。

列車は北千住に着いた。ここで緩行線と並行するようになる。

常磐線には、東海道線と京浜東北線のような快速線と緩行線がある。

緩行線の方は、常磐緩行線や常磐線各駅停車などと呼ばれている。

綾瀬、新松戸、天王台などの各駅に止まるのがこの緩行線である。

こういう緩行線を走るものは電車と言ってもいいと思う。

列車はそのまま203系や東京メトロ6000系を抜かしていく。

取手の手前あたりでようやく寝つけることができた。

で、神立駅で目が覚めた。もう眠れないので車窓を見る。

神立駅の2つ先の駅は、石岡駅である。

この駅は、廃止された鹿島鉄道の接続駅であった。

鹿島鉄道は、鹿島参宮鉄道として石岡～鉾田間が1929年に全通した。

一度関東鉄道と合併したが、1979年に分離して鹿島鉄道となる。

2005年に関東鉄道からの経営支援を断たれたために、2007年4月1日に廃止。

廃止前まで、古い車両の宝庫として知られていた。

現在、廃線跡は歩道として整備され、車両の一部は鉾田駅に保存されている。

鉾田駅に行ってみたかったが、遠いのでそう簡単に行くことはできない。

いまの石岡駅には、鹿島鉄道があったヤード跡地が広がっていた。

しばらく田園風景が続く。

水戸に近づくと、徐々に住宅が目につくようになってきた。

8時00分、水戸着。



車窓と生茶



石岡駅周辺



鹿島鉄道ヤード跡



田園風景

次の列車まで1時間、ここを逃すと仙台まで自由時間がない。
とりあえず朝飯食うか……。
New Daysでおにぎりを何個か購入。
ベンチでボーッとしながら食う。
しばらくまともなもの食ってないなあ……。野菜食いたいなあ……。
食い終わったので駅周辺をぶらぶらしてみる。
本屋がある様子ではなかった。というか開いてなかった。
暇つぶしできねえ……。

カフェに行ってアイスコーヒーを飲むことにした。
店内に信夫と嶋田が朝食を食べていた。
信夫はトマトだかなんかのジュースがまずかったらしく、かなり残していた。
30分ほど時間があつたので列車を何枚か撮影する。
とは言っても露出が高すぎたためにいい写真は全く撮れなかった。
9時03分発、普通原ノ町行き。

415系1500番台10両編成だった。このまま原ノ町まで行くのか……？
と思っていたら、次の勝田で前5両を切り離してしまった。
たった一駅だけの10両編成だった。
日立に着くと、大量に人が乗ってきてたちまち満杯になった。
なんかお祭りですか……？

いわきで大量に降りていった。なんのお祭りは結局わからなかった。
ゲームも飽きたので車窓を見ることにする。
ちょうど太平洋が見えてきた。海を見るの久しぶりだなあ……。
3時間ロングシートに座りつづけ、12時11分、原ノ町着。
ロングシートに3時間も座るのは結構きついです……。
ホームに降りると、今では珍しい駅弁の立ち売りが行われていた。
こんなところで立ち売りしてるのか、珍しいこともあるものだ。
たいして時間もなく、12時25分、原ノ町発。

E721系2両のみという、確実に満杯になる編成だった。
が、なんとか後ろ向きとはいえボックスの通路側に座ることができた。
隣の窓側に座るのは山田だった。
このあと、俺と山田をある悲劇が襲う。
それは、向かいに座るある2人であった……。



水戸駅



常磐線原ノ町行き(原ノ町にて)



駅弁の立ち売り



常磐線仙台行き(E721系)

■悲劇、そして仙台

女子「ここどうやるの？」

男子「えっとね、XをYに代入して、それから……」

構図として、女子が男子に勉強を教えている様子を想像してほしい。

ふつう逆だろ、とツッコミをいれるのはさておき。

とりあえず、だれでも容易に想像できそうなことが目の前で起こっていた。

男子「それで、Yを二乗すると……、ほら。わかる？」

女子「ええ？ わかんない……」

男子「実は俺もわかんないんだよね」

ねえ、これなに？ これなんていうみせせめ？ もしかして芸かなんか？

聞きたくても聞けないため必死に寝たふりをする。

が、視覚情報は遮断できても、聴覚情報はiPodだけではふせげなかった。

男子「昼ごはんどうする？ ジョナサンにする？」

女子「ええ～、ジョナサンはだめだよ～」

男子「じゃどうしようか」

女子「お肉買ってこうよ」

リア充ってやつなんですかね？ こういうのって健全な男子が見たらどう行動

にうつるんだろうね？

健全な男子である俺にとって、うざいという感情を抑えるしかできなかった。

1時間の拷問の後、13時43分、仙台着。

俺 「あのリア充カップルうざかった……」

山田「はは……」

苦笑、その裏の顔は見えなかった。

さて、2時間30分弱の自由時間。仙台を観光するにはあまりに少ない。

今日は七夕まつりの最終日だった。せつかくなので通りを歩くことにする。

通りに入ると、人人人。

とにかく人、その頭上に紙のできた七夕がずらっとつりさげられている。

壮観だねえ……。

じっと見てもおもしろいわけではないので、とりあえず人の流れに沿って歩く。

てか人多すぎだし！ いくらなんでも混みすぎだし！

うわあ、もういやになってきた……。脇の出店にぜんぜんたどり着けないし。

とりあえず一番大きいという七夕まで行ってみた。

でけええええ……。よくこんなの作れるよな……。

人口密集率が高いため汗がひどいことになってきた。

もう駅に戻ろう……。

祭りの通りを抜けて、普通の通りにでる。

酸素が足りねえ……。

駅についた時には、もう14時40分を過ぎていた。

もうあんまり時間ないなあ……。



七夕まつり



通りの中央部



通り入り口



仙台駅

駅の目の前にある Loft 内のジュンク堂書店に入る。
読みたいものが一切ない……。どうしよう、本当に暇だ……。
とりあえず昼飯にしようか……。
駅のレストラン街に出てみる。う～ん、肉食いたいんだけどなあ……。
牛タンを手軽に食べそうなところはなかった。
やっぱり駅弁しかないのかなあ……。
ということで牛タン弁当を買うことにした。
冷めてもいいから量が多いやつにしたい……。
名前的に多そうなやつを選んだ。
結局、量が少なくて温かいやつだった。
あそこはこんなしか売ってないのかよ！！
あきらめてホームのベンチで牛タンを食うことにした。
この弁当、箱の下の糸を引くと温くなるタイプの弁当だ。
たぶんこの温めるやつが高いんだろうなあ……。
5分たってから、ふたを開けてみる。
気温 29 度のホーム上にひとつの湯気がたった。
てか熱っ！！
牛タンはなかなか歯ごたえがいいかんじになっていて、美味かった。
やっぱ仙台きたら牛タン食わなきゃな。
次の列車までまた 30 分ほどあるが、山田によると非常に混むそうだ。
青春 18 きっぷを使って東京に帰る人が大勢乗るかららしい。
ようするに俺達と同じことをみんな考えてるってわけね……。
帰りくらい新幹線にすればよかったか……。？
というわけで席取りのために列に並ぶ。
俺が並び始めた直後に列ができた。すげえ……。
列に並びながら反対のホームに停まっている仙山線を撮る。
山形行きたい、東京帰りたくない……。
16 時になる数分前に、東北本線快速仙台シティラビット 6 号が入線してきた。
E721 系 4 両編成、少なすぎる気がものすごくする。
これで福島まで行く。1 時間だけの乗車だ。
ボックス席に座って iPod を聴き始める。車内は満杯だった。
向こうのドア前に立っているおっさんが岩沼までずっと睨んできた。
座れなかったことについて恨まれているのだろうか……。
16 時 03 分、仙台発。
もう旅行は終わりである。
もうゲームはせずに、ただ車窓を眺める。
東北って感じがするよなあ……。
列車は、東京に帰る人を乗せて福島へ向かった。

17 時 13 分、福島着。



炭火焼牛タン弁当



弁当上部



仙山線快速山形行き(719 系)



快速仙台シティラビット 6 号(E721 系)



車窓

■帰宅

さてここからが激戦区である。

通勤電車と同じ、椅子取りゲーム大会の幕開けだ。

福島で、719系4両の黒磯行きに乗り換え。

ドアが開いた瞬間にゲームスタート！！

なんとか座った、が……。

隣に座ったおっさんがめっちゃデブだった。

俺の領域の三分の一が奪われてしまった。てか狭い……！！

もういいや、立とう。俺が立つとおっさんはすごく嫌な顔をした。

結局、黒磯までずっとたちっぱなしだった。MISSION FAILED……。

第二回、椅子取りゲーム大会へ。

会場は、黒磯駅。ターゲットは211系5両だ。

今回は俺の勝利。MISSION COMPLETE。

近くの席で横溝先輩が俺が食べた弁当と同じタイプの弁当を食べていた。

夜になってしまったため、外が全く見えなくなってしまった。

徐々に東京に近づいてきている。

50分ゆられて、20時21分、宇都宮着。

次の列車が、この旅行最後の列車である。

東北本線快速ラビット上野行き。

E231系15両という長い編成だった。

この列車内で流れ解散という形になる。

上野まで乗る部員もいれば、俺みたいに赤羽で降りる部員もいる。

ロングシートに、中三がほとんどならんで座る。

信夫はばあちゃん家行くとかでいつの間にか消えていた。

20時38分、宇都宮発。

普通に山田たちとしゃべって、赤羽までの1時間20分を過ごした。

21時58分、赤羽着。

鉄研旅行は終了し……、てはない。

家に帰るまでが旅行というものである。

とりあえず夕飯食おう。

とは言っても、もうそろそろ飲食店系は閉まってしまう。

下のラーメン屋まだ開いてるか……？

あ、まだ開いてた……。

店員に不審な目で見られつつも、久しぶりの美味しいラーメンを食べた。

渋谷まで行って田園都市線に乗る。

夏休みだからか、それとも深夜帯だからか、渋谷のギャルがうるさかった。

梶が谷に着くと、夏休み初の雨かつ、

ドシャぶりだった。

家に着いた時は、もう全身濡れた状態だった。

最後の最後にこれはないなと思った。



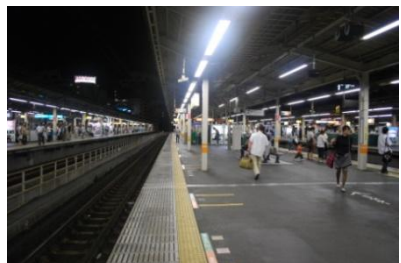
東北本線黒磯行き(719系、郡山にて)



東北本線宇都宮行き(211系)



快速ラビット上野行き(E231系)



赤羽駅



ラーメン屋

■あとがたり

今回の旅行について……

今まで自分が行った鉄研旅行は、なんというかJRを乗りつぶす、ただそれだけのようなものだった。

今回の旅行は、自分で企画したものでありながら、旅行という意味をなすものではなかったと思う。

それが鉄研の旅行というものならば、疑問には思っても納得はするだろう。

しかし、自分が行きたい旅行というのは、鉄道だけに乗るのではなく、鉄道を使った旅行がしたい、そういうものである。

今回、新潟や会津、米沢、仙台と、色々な町に行った。

が、それでも鉄道だけの旅行というイメージを拭うことはあまりできなかったと思う。

鉄研の旅行が、鉄道に乗るだけというものではなくなるように、今後していきたい。

Track -ZERO-

Photo & Written by H.Yonemochi

「夏の逃避行」

Photo & Written by H.Yonemochi

P.S

この旅行の副題である「夏の逃避行」というのは、ただ勝手につけただけである。

ゆえに特に深い意味はない。(笑)